

「巻頭特集」世界で活躍する地元企業の総合展示ホール

# デンソーギャラリーで知る ものづくりの原点

自動車部品メーカーとして世界に名が知られる、株式会社デンソー。

これまでに38000件の特許を取得し、技能五輪国際大会で61個のメダルを獲得するなど

世界でトップレベルの技術力を誇る。ものづくりへの情熱を集約した場が刈谷市本社内にある「デンソーギャラリー」だ。

## 高い技術力をPR 地域に向けた場を目指して

毛髪よりも細かい穴を開けるためには、0.001mm精度の加工技術が必要になる。株式会社デンソーは高い技術力で精密な加工を可能とし、設計図面に示された製造工程を確実に実現している。他にも事業は多岐にわたり、QRコードの開発やハンドクリームの製造など、自動車部品以外の分野でも広く展開を見せている。事業内容や企業の歩みなどを紹介するのが、市内の本社敷地内にある、総合展示ホール「デンソーギャラリー」。

最先端技術を紹介するコーナーや、未来の車社会を予想した映像コーナー、産業ロボットの見学などがあり、「デンソーの過去・現在・未来」をテーマとしている。「刈谷市の会社ですが、どのような企業か知らない人もいるのではないだろうか。地域をはじめ、広く皆さんにデンソーを知ってほしい」との思いから、こ

場所ができたんですよ」と笑顔を見せるのは、竹田光範館長。現在、ギャラリーは本社5号館にあるが、以前は本社別ビルにあった。当時は入館手続きや予約を必要としていた背景から、入場者は関係者や顧客が多数。地域住民にも気軽に足を運んでほしいとの思いから、平成20年に展示スペースを広げ、全面リニューアルして移転した。

5号館は入館手続きが不要で、ギャラリーへの来場も予約不要。1階は商談スペース、2階にはカフェを設け、来場者がくつろげる空間となっている。移転後は地域住民や学生、社会人などが増加。「就職活動中の学生さんもよく見かけます。一生懸命にメモを取っているので、写真を撮影してもいいですよと声をかける時もあります」と竹田館長。館内には海外から研修に来た人々の姿も見える。国境を越えて、多くの人に開けた施設となった。

QRコードも副産物である。もとは膨大にある自社製品を生産・管理するために開発した2次元コードで、今では世の中に広く普及。社会貢献になればとの思いから、デンソーは取得特許の使用を無償で許諾している



リニューアル時、地域にオープンな施設であることを大切に。入館手続きや予約を不要にするほか、解説文や音声、映像に日本語・英語・中国語の3カ国語に対応させた

入口で来場者を出迎える「コーポレートガイダンス」ゾーン。企業概要を紹介する場所であり、3D映像や体験コックピットなどを採用して、デンソーの省燃費技術やグローバルネットワークを解説している

ものづくりへの思いが詰まった施設です。地域の皆さんに来ていただきたいという思いも思っています。



- 2016年のグランプリ作品である「検査器」。発明好きなチームが開発に挑んだ力作
- 一昨年のデンソー夢卵では、ものづくり体験やステージショーなども開催。模擬店の出店もあり、子どもから大人まで楽しんだ
- 今年のデンソー夢卵のキャッチコピーは「新しく、面白ければ、何でもOK、実用性不問」。社員が考え出した奇抜な作品は一見の価値有り

## 世界トップレベルの技術力 製品から知る開発の道のり

ギャラリー内に足を踏み入れると、近未来的な内装に思わず目を奪われる。映像コーナーや体験コーナーが随所あり、専門的な説明を分かりやすく解説。創業時に製造していた自動車部品から最新の開発製品まで、あらゆる時代の商品が展示されている。

施設には「コーポレートガイダンス」「デンソーのあゆみ」「映像コーナー・企画展示コーナー」「製品・技術ゾーン」「デンソーを支える力」の5コーナーがある。特に人気がある製品・技術ゾーンでは、デンソーにおける最先端技術を紹介。ディーゼルエンジンの性能を飛躍的に向上させた「コモンレールシステム」や、夜間の運転時に歩行者を検知する「ナイトビュー」は、デンソーが開発した世界初の製品。また、そのような革新的な開発を形にする技術や生産力も紹介している。「弊社には世界初の製品や、世界一のシェアを誇るものがたくさんあります。何気なく使っていたあの機能はデンソーが始まりなんだと、身近に感じていただければ嬉しいです」と竹田館長は話す。生活・産業ゾーンには、自動車関連分野における開発の副産物として生まれた製品も数多く展示している。そのひとつがハンドクリーム「moina」



デンソーが生産販売した唯一の自動車「デンソー号」。「デンソーのあゆみ」に展示されているが、現在では貴重なものとなり、来場者からも人気がある。竹田館長はいい製品で気に入っていると話す

だ。デンソーは、河川にある藻からバイオ燃料を精製する開発に取り組んでおり、その際に保湿度の高いオイルが取れる藻も開発できたため商品化した。現在では広く普及したQRコードもデンソーが開発したもので、関連製品も紹介している。

## イベント開催でにぎわう施設 地域住民も親しむ存在に

ギャラリーがある5号館1階では、隔年11月にデンソー主催のアイデアコンテスト「デンソー夢卵」を開催。国内外グループも含めた全社員が参加して、新製品提案に挑む。事前の書類選考で通ったアイデアは、実際に制作。来場した一般参加者が投票して入賞作品を選ぶのだ。「リングの皮むき器や、底を浸けると水を吸い上げる洗面器など、社員の奇抜

なアイデアが集結します。入賞作品はギャラリーで展示するんです」と竹田館長。からくり作品部門や技能作品部門などの分野があり、精巧で革新的な作品を見たいと、一般参加者14000人以上が来場する。イベント開催なども含め、これからも地域により開けた施設にしていきたいと竹田館長は熱を込める。「刈谷市に本社がある企業ですし、市民の皆さんにデンソーを好きになってほしい。ものづくりへの思いが詰まった施設です。地域の皆さんに来ていただきたいという思いも思っています」と笑顔を見せる。

現在、デンソーの連結売上収益4.5兆円のうち、大半は自動車部品。今後は10パーセント以上の売上を目標に、自動車分野以外の事業を拡大したいと発表している。ギャラリーをめぐる、展示された製品から技術者たちが抱くものづくりへの情熱が伝わる。地元企業の挑戦に胸が熱くなる。



デンソーギャラリー 館長 竹田光範さん  
営業として国内外で30年以上活躍した後、デンソーギャラリーの館長として5年携わる

## information

### デンソーギャラリー

- 刈谷市昭和町1-1 (5号館)  
TEL 0566-61-7215  
■開館:月曜日～金曜日、毎月1回は土曜日に開館(原則第1土曜日)  
※春季・夏季・年末年始の会社連休日を除く  
■時間:9:30～17:00  
※入館手続き不要、予約不要、駐車場あり



ハンドクリーム「moina」は、藻をイメージしたパッケージデザインと商品名